

教育コース通信 2020 (NO.1)

愛知県立豊橋南高等学校 教育コース

開講式 (EDU1)

令和2年6月1日(月)教育入門の授業にて教育コース3期生による開講式が本校プレゼンテーションルームで行われました。来賓として愛知教育大学理事・副学長の杉浦慶一郎様に祝辞をいただき、教育コース生の新学期がスタートしました。今年度は新型コロナウイルス対策のため3期生のみのお出席となりましたが、新入生代表の清田竜之介さんが「教師を目指し、文武両道で励んでいきたい」と力強く先生の言葉を述べました。また、3期生は自分たちの夢について発表し、大変有意義な時間となりました。教育コースの活動には小学校から大学、地域などたくさんのお集いの場があります。それら1つ1つのお集いを大切に、弱い立場の人、教える側の人、いろいろな視点から物事を考えられるようになってほしいと思います。



〈校長 祝辞〉



〈愛知教育大学 副学長 杉浦様 祝辞〉



〈新入生代表 宣誓〉



〈未来のわたし わたしたち 目標発表〉

「学校の役割」について考える (EDU1, EDU2)

教育コース1年生と2年生がそれぞれ教育入門、教育探究の授業にて休校中の課題であった「学校の役割」について考えました。休校中の自らの経験や報道されている事柄などから、さまざまな意見を出し合いました。今回のコロナ禍により改めて生徒たちも学校の役割や在り方について深く考える良い機会となりました。グループによる発表は、持ち時間をきっちり使い、堂々としていました。中には、聞く側の生徒の発言を促す、巧みな話術を披露する生徒もいました。



愛知教育大学講義 (EDU1)

令和2年6月29日(月)教育入門の授業にて愛知教育大学講義が行われました。講師として清水克博先生にお越しいただき「これからの教育に求められる力とは」について学びました。AIの発達が進む今の時代、「たくさんの情報から正しいものを選び、それを基に新たなものを作り出す力」が必要だと述べられました。講義後、ワークショップによる振り返り学習を行いました。生徒の感想から「これからは大学入試も変わり、知識量ではなく思考力、判断力が必要になること」や、「社会で求められるものが変われば、それに必要な人材の育成法も、そのための教師の役割も変わっていくこと」を学ぶことができました。

